

2010年4月1日

各位

住友金属鉱山株式会社

2010年度の地金生産計画について

当社は本年2月15日に発表した2009年中期経営計画（以下「09中計」）において『事業構造の転換による長期ビジョンを見据えた新成長戦略』を策定しました。従来の資源・金属事業と電子・機能性材料事業という2つのコアビジネスを「資源」、「製錬」、「材料」という3つのコアビジネスに転換し、「資源」事業では銅、金の海外権益を拡大し、「製錬」事業では、ニッケル10万トン/年体制の確立に加え15万トン/年体制も視野において、『非鉄メジャー』をめざしてまいります。

「09中計」の初年度である2010年度において、「資源」事業では2009年7月から当社が単独で海外鉱山の操業・運営を始めたボゴ金鉱山の操業をさらに確実なものとし、「製錬」事業ではニッケルにおいてタガニートHPAL（High Pressure Acid Leach：高圧硫酸浸出）プロジェクト（投資額13億ドル）の建設を着実に進め、コーラルベイHPALのさらなる増強をはかり（2009年度22千トン/年体制確立から2010年度下期24千トン/年体制）、新居浜ニッケル工場の増産体制（2009年度に電気ニッケル41千トン/年体制確立）が年間を通して寄与します。さらにニッケル10万トン/年体制確立に向けた電気ニッケル生産能力65千トン/年体制づくりに着手します。

以上ご説明申し上げた「09中計」を踏まえて、「製錬」事業2010年度の地金生産計画を定めましたのでお知らせします。

【2010年度計画】

	単位	10上計画	10下計画	計	
電気銅	t	202,000	202,000	404,000	外部からの受託を含む。
電気ニッケル	t	20,400	20,600	41,000	
フェロニッケル	t	7,800	11,000	18,800	
亜鉛	t	34,700	43,300	78,000	エム・エスジンクからの受託
電気鉛	t	11,800	12,600	24,400	
金	kg	17,000	18,000	35,000	
銀	kg	119,000	119,000	238,000	

1. 国内拠点

1) 定期補修

- ・東予工場(電気銅)

2010年度は計画なし。

- ・新居浜ニッケル工場(電気ニッケル)

5月に4日間、11月に4日間を予定。

・日向製錬所(フェロニッケル)

2系列保有するキルンについて、1系列の補修工事を5月から6月にかけて21日間、もう1系列の補修工事を11月に25日間実施する予定。

また、2系列ある電気炉の1系列の更新工事を2010年2月から実施しており、8月末には生産を再開する予定。

・播磨事業所(亜鉛、鉛)

本年3月18日より大規模な定期補修を実施しており、5月6日より生産を再開する予定。

2) 生産概要

電気銅 : 昨年に続きコストミニマム・収益最大化の操業を念頭において2010年度の生産は2009年度原計画401千トン対し微増の404千トン計画とした。

電気ニッケル : 昨年度に生産能力増強(従来の36千トンから41千トン増強)工事が完成しており、昨年度下期から生産能力に見合った生産を実施している。2010年度は年間をとおして生産能力での生産を継続する。

フェロニッケル: 8月末に1系列分の電気炉の更新工事が完成するため、下期より生産能力での生産を実施する。

2. 海外拠点(参考)

	単位	10上計画	10下計画	計	
ニッケル(コーラルベイ)	t	11,000	12,000	23,000	中間原料
金(ポゴ)	kg	5,900	6,000	11,900	

3. 2009年度計画および09上実績

	単位	09上計画	09下計画	09年間計画	09上実績
電気銅	t	200,000	201,000	401,000	195,195
電気ニッケル	t	13,700	19,500	33,200	14,424
フェロニッケル	t	8,900	7,900	16,800	11,352
亜鉛	t	35,300	32,800	68,100	32,105
電気鉛	t	11,500	12,100	23,600	8,432
金	kg	17,000	18,000	35,000	19,071
銀	kg	135,000	135,000	270,000	146,924

以上